



# にぎわい通信



— 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信 —

## レポート

8月24日、長崎県厳原町(対馬)で、平成12年度総会及びフォーラムが開催されました。

総会では、活動体制の強化を図るため、本会を「日本海にぎわい・交流海道ネットワーク」に改組することに決定し、代表には新潟市長(右写真)、副代表には小樽市長、酒田市長、舞鶴市長、境港市長、及び厳原町長の5名、監査役には新潟県港湾空港局長及び京都府土木建築部長の2名にそれぞれ決定しました。

さらに、本年度から新たに取り組む事業として、会員の地域や港の情報を広く発信するホームページを開設することを決定しました。制作に際しては、会員の皆様のご協力を得ながら進めていきたいと考えております。



総会後に行われたフォーラムでは、田代和生・慶応大学教授(左写真)から「江戸時代 対馬・朝鮮交流街道のにぎわい」と題してご講演を頂きました。対馬と朝鮮の関係について日常的な交流の中から具体的に取引商品を挙げて説明していただき、いかに当時の対馬・朝鮮交流海道が賑わっていたか、など大変興味深い研究成果をお話ししていただきました。

続いて、総会に出席いただいた日本海沿岸各地域の自治体の代表の方々と港湾建設局長による意見交換会(右下写真)を行いました。江頭第四港湾建設局長のコーディネート

により、自治体の方々からは、環日本海交流の発展への強い期待、まちづくりにおける港の重要性、海を介した日本海沿岸地域の連携強化等、活発な意見が出されました。また、西島第一港湾建設局長からは、充実しつつある日本海の航路網の現況とアジアとの交流拡大の可能性について発表をしていただきました。

来年度の総会は、北海道・稚内市で行う予定です。



## 会員だより

### [両津市の紹介]



両津市は、新潟県の佐渡島東部に位置し、古くから漁業や港湾都市としての歴史をもちます。江戸時代には、和船の船がかりに便利な天然の良港として栄えました。明治元年には、夷港が新潟港の補助港として開港、さらに重要港湾となり、両津航路は佐渡の人流・物流の80%をかかえるメイン港として賑わっています。また、当市はその大半が佐渡・弥彦・米山国定公園及び県立自然公園に属し、海あり山あり湖ありと

自然景観に富んだ地形となっています。

また、隣の新穂村では待望の朱鷺二世「優優」の兄弟「新新」と「愛愛」が誕生し、観光客の人気を呼んでいます。

#### <天領佐渡両津市新能>

佐渡は能の島とも呼ばれ、現在も30余の能舞台が残っています。そこで当市では、民衆に支えられ育まれてきた独特の歴史を持つ能を気軽にご覧いただくため、毎年4月から10月までの第一土曜日に「天領佐渡両津市新能」を開催し、好評を得ています。



#### <スキューバダイビング>



佐渡は、沖縄や伊豆とは一味違ったダイビングポイントとして人気があり、毎年1万人近いダイバーが訪れています。変化に富んだ海岸線、透明度抜群の海に群れをなす魚、美しいサンゴなど、佐渡の海中散歩は魅力的です。北小浦海洋センターも整備され、初心者から上級者まで目的に応じたトレーニングが1年を通じてできます。しかも、宿で味わう山海の珍味は、佐渡ならではのアフターダイビングの醍醐味といえます。

## [村上市の紹介]

村上市は、新潟県の県北に位置して古代から人々が住み、海・山・川の自然に恵まれた、県下でも古い城下町です。藩政時代から続く伝統的工芸品の「村上木彫堆朱」、北限のお茶等の伝統産業をはじめ、国の重要文化財に指定されている「若林家住宅」、史跡「村上城跡」や「イヨボヤ会館」、「おしゃぎり会館」、「瀬波温泉」等々数多くの名所・旧跡・観光施設を有する観光文化都市です。



市には、古くから漁港として栄えてきた岩船港があり、ここで水揚げされた海産物は小国、米沢方面にまで送られ、これら後背地域の重要な玄関口となっていました。現在は商・漁港として機能しており、粟島との間にフェリー型船舶及び、高速船が就航し、粟島の生活や観光航路の拠点としても大きな役割を果たしています。また、平成7年秋には耐震構造岸壁が、平成11年秋には水深-5.5M岸壁も完成。セメント、硫酸基地も稼動し、新潟県北の基幹港として重要性が一層増しています。平成12年度には「特定地域振興重要港湾」に指定されています。

### 村上の味と観光

#### <鮭>

村上の人々は、市内を流れる三面川の鮭を「イヨボヤ」と呼んでいます。この「イヨ」と「ボヤ」は共に広く魚をさす方言で、魚と言えば村上では鮭をさすほど独特の鮭文化を育んできました。鮭の遡上する時季を迎えると、村上市内の軒先には「塩引き鮭」が一斉に並び、晩秋を告げる季節の風物詩となっています。



鮭を使った料理は百種類以上あり、その一つ一つに鮭を愛した人々の、知恵と工夫、真心がいきています。ぜひ、村上で、その本物の味わいをご堪能ください。

#### <お酒>

清らかな三面川の伏流水に恵まれ、背後に上質の酒米産地をもつ村上は、伝統の酒処です。

気候風土に恵まれ、全国的に名高い越後杜氏の職人の技によって醸される村上の地酒は、美酒、銘酒として高い人気を誇っています。



### <村上牛>



村上牛は、品質の良さでは定評のある黒毛和牛に、コシヒカリの稲わらと乾草をたっぷり与え美しい自然の中で約2年。のびのびと育てられた高級和牛です。その肉質は、色鮮やかで風味よく、特にサーロインステーキには最高です。

### <お茶>

北限の茶として知られている村上茶。村上はお茶の産地としては最北限なので、他の産地よりも日照時間が短く、そのために渋みの元であるタンニンの少ない、まろやかな味わいのお茶が生まれると言われています。



### <村上堆朱>



村上の木彫堆朱は、伝統的な塗り方に特徴があります。丹念に彫刻を施した木地に、上質の漆を何回も何回も塗り重ねていきます。彫刻部分を指頭（指の腹）やタンポで叩きながら塗り、刷毛で調整するこの技法は、指先までの最新の注意と忍耐力を要します。「村上の匠」たちが受け継いだ、伝統的技法による「村上木彫堆朱」は、芸術性の高い工芸品として、人気があります。

### <瀬波温泉>

日本海に沈む雄大な夕日を望むことができる瀬波温泉は明治37年から利用されています。夏は海水浴客で賑わう「波打ち際」の温泉地です。



### <観光施設>



県下三大祭りのひとつ「村上大祭」に引き回される屋台（山車）を展示している「おしゃぎり会館」には藩政時代の資料も展示しています。

担当：村上市企画調整課企画調整係  
ホームページアドレス

<http://city.murakami.niigata.jp>

## 夏のイベントを振り返って



<敦賀サマーフェスティバル2000>

海の日7月20日から23日までの4日間、敦賀港金ヶ崎緑地において敦賀サマーフェスティバル2000が開催されました。敦賀の民謡をアレンジした踊りのコンテスト、ダンスコンテスト、寺内タケシさん他によるコンサート、港内遊覧など盛りだくさんのイベントに4万8千人もの入場者がありました。



## 編集後記

- にぎわい総会も無事終了し「ホッと一息」、と思いきや、にぎわい通信の担当が回ってきました。9月中の発行を目指してガンバッテきたところ、管内会員のご協力のおかげで何とか月末ギリギリで発行することができました。原稿を寄稿していただいた皆様、ありがとうございました。
- 総会で了承されたホームページを作っている最中ですが、いずれ「にぎわい通信」もホームページ上で御覧頂けるようにしたいと考えております。なお、制作途中のホームページは、年度途中で意見照会させていただく予定ですが、早く覗いてみたい、そして意見を述べたいと考えている方は、事務局あてご連絡願います。
- 文末になってしまいましたが、にぎわい総会に御尽力いただいた巖原町の職員の皆様、大変、たいへんお世話になりました。立派な会場の設営と手際のよい事務処理に、ただただ感心するばかりでした。無事終了した総会の“にぎわい”は皆様方のおかげと感謝しております。ありがとうございました。

(S急便)

\*\*\* 編集 \*\*\*

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局

第一港湾建設局 企画課

〒951-8545 新潟市白山浦1-332

tel 025-265-7781 ; fax 025-230-3680

e-mail [sagawa@ichiken.phri.go.jp](mailto:sagawa@ichiken.phri.go.jp)